

北海道富良野緑峰高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和4年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)日本農業技術検定3級合格の100%を目指す。 (2)アグリマイスターシルバー取得の50%を目指す。 (3)3年生の進路決定率100%を目指す。	A	(1),(2)日本農業技術検定やその他資格の合格率向上を目指す講習会などの実施。 (3)生徒個々に応じ、進路実現のための支援、指導を充実させる。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1)昨年度に引き続き、感染防止の観点から、直接的な交流は感染状況などを判断し、可能な限り実施する。 (2)世界の農業情勢について理解を深める授業を各学年2時間以上実施する。	A	(2)農業と環境、野菜、草花、農業経営、農業情報処理などにより、世界の農業情勢に関する学習を深める。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)富良野農業についての学習を深める授業を2学年、3学年それぞれ4時間以上実施する。	A	(1)幼稚園、小学校との連携学習や感染対策を講じた上で、インターンシップや農場視察を実施する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)近隣の先進農家や先進的な農業関連産業に携わる方の講演会を1回以上実施する。	A	(1)感染防止対策を十分に講じた上で、換気やソーシャルディスタンスを配慮できる環境下で実施する。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)SDG'sに関する学習を各学年2時間以上実施する。 (2)農薬、肥料などの適切な施用を基準に従って確実に実施する。	B	(1)農業と環境、農業経営などの授業でSDG'sに関する学習を実施する。 (2)JAふらのの施用基準を遵守した栽培管理の継続実施。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)5つある専攻班において地域の資源を活用したプロジェクト学習を100%実践する。	B	(1)メロンハウスの有効利用、ふらのワインの絞りかすの利用、地域を代表する花材を利用したガーデニングなど地域資源を活用した教育活動を実践する。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)農業科目においてICTを活用した授業を2時間以上実施する。 (2)農業クラブ各種大会において、確実にICTを活用した当番校運営をできるようにする。	B	(1)ICT活用において教員の技術を深める研修をする。 (2)昨年度、実績があり状況に応じて対応できるように常日頃から準備を進める。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)農業教育において地域の過去の災害について触れる授業を各学年1時間以上実施する	B	(1)水害で堤防が決壊した場合、いち早く被害を受ける立地であるほか、活火山も地域にあるため、授業、実習において防災意識を常に持たせる教育を実践する。